

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さぼてんきっず		
○保護者評価実施期間	2026年2月13日		2026年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		2026年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の特性に合わせたSSTプログラム(個別・集団)を考え、取り組んでいる。	・個別支援計画に沿った個別のSSTを考え、日々のプログラムを考えている。 ・子どもたち同士の関わりを増やし、コミュニケーションをとる練習も兼ねて、対戦型や協力型など、様々な形態の集団活動を行っている。	・異年齢での集団活動となるため、一部の児童が参加しにくくなる場面があったため、年齢や特性による小集団での活動を取り入れ、より内容を充実していく。
2	・室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	・月に1回のプール活動や外部講師を招いた運動活動を実施し、感覚統合や協調運動の訓練を楽しみながら取り組んでいる。 ・お出かけやお買い物体験などの活動を取り入れ、公共でのマナーの習得や、お金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	・子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくってきたい。
3	・視覚支援、構造化への対応に取り組んでいる	・日々のスケジュールや時間を視覚化し、一人で確認して次の行動に移ることができるよう工夫している。 ・おもちゃをしまう箱に、入っている中身の写真を貼り、一人でも写真のように片付けを行えるようにしている。	・一人ひとりにより、伝わりやすい視覚支援ツールが違いため、より個々に合った視覚支援ツールの作成を進めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者支援の機会が少ない。	・利用時における連絡ノートの活用や、月に一回発行のお便り、ブログの発信など、情報発信に努めているが、一方的な情報発信となるため双方向な情報のやり取りや、対面での保護者支援を行う機会が少ない。	・保護者懇談会や送迎時など、対面でコミュニケーションを取れる機会に積極的に対話をする。
2	・異年齢への支援がきめ細やかにできていないことがある。	・利用者が小学校1年生から高校3年生までの受け入れのため、年齢や特性に合った支援内容でない場合が見受けられる。	・支援内容によっては、年齢や特性などにてグループ分けする等、一人ひとりに合った支援方法を考える。 ・思春期における療育支援を適切に理解し、一人ひとりにあった支援を実施する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さぼてんきっず下新田

公表日 年月日 2026年3月10日

利用児童数 15名

回収数 13枚

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2		3	いつも子供たちがいるときに中の様子を見る機会がないので、よくわからない。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	3				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		3		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	7	4		交流の機会を増やしていけるよう努めていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	4		勉強会や情報提供の機会を増やしていけるよう努めていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	5	5		来年度も今年度と同様に、勉強会・懇談会を開催する予定となっております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	1	2		相談などに迅速かつ適切に対応できるよう心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1	そのような場面が今までないのでよくわからない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			・以前より外へ出るのが減った気がするので、長い休みの時など、ずっと中だと飽きると思っています。 ・連絡帳に今日の様子を詳しく書いてくれるので、助かっています。	・公園や課外活動などを増やしていけるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さぼてんきっず下新田		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		あそびのスペースやけがの危険性を配慮しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		適時に職員間で見直し、全員に周知しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		気づいたことを話し合えるよう時間を社内会議等で設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムの修正、見直しをしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		子供の様子等に関して変更があれば共有ノートや気付きを使用しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		社に会議で最近の子供の様子を様々な人の視点から見えています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		子供の変化や目標が達成されていけば次の支援のやり方を行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		アセスメントにて今の子供の状況を把握し、職員全体で同じ支援が行えるよう取り組んでいます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子供の意見も取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		改善後の支援の様子も共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		声掛けや絵カード、ジェスチャーで行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	近くの公園で子供たちが言葉を交わしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		利用時の子供の様子をできる限り伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		その状況等が振り返りよう職員間でも情報伝達しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		ダブルチェックを行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		訓練等を行った際にはお便り等でお知らせしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		変更があれば情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理の備品なども不足がないか定期的にチェックしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		家族が安心できるよう配慮してお話しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		対策を考え、次に起こりそうなことを話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		今の子供の様子を共通認識して適切な支援が行えるよう努めています。		